

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号    | 科目名   | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|---|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 330611134 | 学泉アカデミーA (ボイストレーニング)<br>Potential Studies A | 五十嵐舞 |                  |        | 1   | 選択     | 1前期     |

**科目の概要**

この授業は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指す学生の人間力を向上させるために位置付けられた科目群のひとつである。(DP②)  
 科目概要は以下のとおりである。  
 この授業は、読みや歌唱など、声に関わる表現活動への取り組みを通して、基本的な発声を習得し、自分や他者の声の特性を知り、自己表現の可能性を広げることが目的とする。声に興味関心を持ち、声という個性を通して自分や他者を認め、積極的に自分の思いを表現(発信)・言語化できる人材育成を目指す。また、声による表現の重要性とその役割に気づき、自発的で活発なコミュニケーションの土台作りとしてのボイストレーニングを学修する。

| 学修内容  | 到達目標   |
|---|--|
| ① 声への理解を深める<br>② 基本的な発声を学修する<br>③ 声による表現の内容について理解し、その方法を学修する<br>④ 発表についての理解を深める<br>⑤ 発表を通して、自由に表現する | ① 自分や他者の声の特性を捉え、表現に生かすことができる<br>② 基本的な発声を理解し、積極的に表現することができる<br>③ 声による表現の内容について理解し、その方法を深めることができる<br>④ 発表についての理解を深めることができる<br>⑤ 自分や他者の発表からフィードバックし、自己表現に生かす |

| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 |
|---------------------|---------------------------|
|---------------------|---------------------------|

|         |             |   |
|---------|-------------|---|
| 前に踏み出す力 | 主体性         | 声への理解を深めるために、積極的に声を出すことができる。                        |
|         | 働きかけ力       | すぐにできない・捉えにくい課題があった場合、解決に向けて自ら行動することができる。           |
|         | 実行力         | 発表に向けて継続的に練習し、発表をまとめることができる。                        |
| 考え抜く力   | 課題発見力       | 自分の声の特性を理解するために、声を注意深く聞き、必要な課題を見つけることができる。          |
|         | 計画力         | 発表の期日に合わせて、計画的に練習を進めることができる。                        |
|         | 創造力         | 学修した発声や表現をもとに、自分や他者の声のイメージを膨らませることができる。             |
| チームで働く力 | 発信力         | 人前で、個人またはグループで発表できる。自分の特性を理解し、場面に合った声で表現に生かすことができる。 |
|         | 傾聴力         | 他者の声や発表を丁寧に聴き、尊重することができる。                           |
|         | 柔軟性         | 他者の声の特性を捉え、自己表現に生かすことができる。                          |
|         | 状況把握力       | 現状の進捗・課題を的確に把握することができる                              |
|         | 規律性         | 授業が円滑に進行するよう、社会人として最低限のルールを守ることができる。                |
|         | ストレスコントロール力 | すぐに結果の出にくい課題に対しても、前向きに継続して取り組むことができる。               |

**テキスト及び参考文献**

授業内にて配布

**他科目との関連、資格との関連**

「学泉アカデミーA (ボイストレーニング)」は、学科専門科目群のライフ開拓領域に配置されており、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭としてふさわしい人間力を育成する科目である。人間力育成という観点で、他の学泉アカデミーとの関連がある科目である。  
 また、資格関連科目には該当しない。

| 学修上の助言  | 受講生とのルール                 |
|---|--------------------------|
| 自分の声や声を出すこと、歌唱に自信のない場合でも、様々な声を出し、読みや歌唱に取り組むことで、自分の声の特性を知り、声の持つ可能性を探求していきましょう。自分の声で伝えることを大切にしましょう。 | 実技を伴う科目です。積極的に練習を行きましょう。 |

【評価方法】

| 評価対象   | 評価方法         | 評価の割合                 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |   |  |
|--------|--------------|-----------------------|------|---------------------------------|---|--|
| 学修成果   | 学期末試験        | 0                     | ①    |                                 |   |  |
|        |              |                       | ②    |                                 |   |  |
|        |              |                       | ③    |                                 |   |  |
|        |              |                       | ④    |                                 |   |  |
|        |              |                       | ⑤    |                                 |   |  |
|        | 平常評価         | 小テスト                  | 20   | ①                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ②                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ③                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ④                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ⑤                               | ✓ |  |
|        |              | レポート                  | 30   | ①                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ②                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ③                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ④                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ⑤                               | ✓ |  |
|        |              | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | 40   | ①                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ②                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ③                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ④                               | ✓ |  |
|        |              |                       |      | ⑤                               | ✓ |  |
| 学修行動   | 社会人基礎力（学修態度） | 10                    | ①    | ✓                               |   |  |
|        |              |                       | ②    | ✓                               |   |  |
|        |              |                       | ③    | ✓                               |   |  |
|        |              |                       | ④    | ✓                               |   |  |
|        |              |                       | ⑤    | ✓                               |   |  |
| 総合評価割合 |              | 100                   |      |                                 |   |  |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準   | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準  |
|--|---|
| <p>S（秀）は、実技・レポートを合わせて90点以上取得すること。読み課題・歌唱課題・選択課題において、表現力豊かに発表ができる。</p> <p>A（優）は、実技・レポートを合わせて80点以上取得すること。読み課題・歌唱課題・選択課題において、表現できること。</p> | <p>B（良）は、実技・レポートを合わせて70点以上取得すること。読み課題・歌唱課題・選択課題において、積極的に取り組み発表できること。</p> <p>c（可）は、実技・レポートを合わせて60点以上取得すること。読み課題・歌唱課題・選択課題において、発表できること。</p> |

| 週 | 学修内容                                    | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準                              | 予習・復習                                 | 時間(分) | 能力名  |
|---|---|---------|---|---------------------------------------|-------|--|
| 1 | リエンション<br>授業内容を理解する<br>読み課題に取り組む        | 講義・演習   | 授業内容を理解し、演習できる                            | (予習)<br>(復習) 読み課題を習得すべく練習する           | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力                      |
| 2 | 発声について学修する<br>読み課題に取り組む                 | 講義・演習   | 発声練習を行い、発声を工夫することができる                     | (予習) 読み課題を練習する<br>(復習) 読み課題を習得すべく練習する | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 3 | 発声について学修する<br>読み課題に取り組む                 | 講義・演習   | 発声練習を行い、発声を工夫することができる                     | (予習) 読み課題を練習する<br>(復習) 読み課題を習得すべく練習する | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 4 | 発表会 読み課題の発表                             | 講義・演習   | 発表を通して、表現の工夫につなげようとしたか<br>次の課題への意欲につながったか | (予習) 発表に向けて練習する<br>(復習) 振り返りのレポート作成   | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 5 | 歌唱課題について学修する<br>発声について学修する<br>発声方法を習得する | 講義・演習   | 発声練習を行い、発声を工夫することができる                     | (予習) 歌唱課題を練習する<br>(復習) 歌唱課題を習得すべく練習する | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 6 | 歌唱課題について学修する<br>発声について学修する<br>発声方法を習得する | 講義・演習   | 発声練習を行い、発声を工夫することができる                     | (予習) 歌唱課題を練習する<br>(復習) 歌唱課題を習得すべく練習する | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 7 | 歌唱課題について学修する<br>発声について学修する<br>発声方法を習得する | 講義・演習   | 発声練習を行い、発声を工夫することができる                     | (予習) 歌唱課題を練習する<br>(復習) 歌唱課題を習得すべく練習する | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 8 | 歌唱課題について学修する<br>発声について学修する<br>発声方法を習得する | 講義・演習   | 発声練習を行い、実技発表に向けて練習を重ねることができる              | (予習) 歌唱課題を練習する<br>(復習) 歌唱課題を習得すべく練習する | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週  | 学修内容   | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準                              | 予習・復習   | 時間(分) | 能力名  |
|----|--|---------|---|---|-------|--|
| 9  | 発表会 歌唱課題の発表  | 講義・演習   | 発表を通して、表現の工夫につなげようとしたか<br>次の課題への意欲につながったか | (予習) 発表会に向けて練習する<br>(復習) 振り返りのレポート作成                        | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 10 | 個人またはグループで読み課題または歌唱課題を選択し、それぞれを深める<br>発声について学修する<br>発声方法を工夫する    | 講義・演習   | 自分の特性を振り返り、表現に生かそうとしているか                  | (予習) それぞれの課題を練習する<br>(復習) それぞれの課題を習得すべく練習する                 | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 11 | それぞれの課題について学修する<br>発声について学修する<br>発声方法を工夫する<br>個人またはグループ内で表現を工夫する | 講義・演習   | 他者の特性を取り入れ、自己表現を深めようとしているか                | (予習) それぞれの課題を練習する<br>(復習) それぞれの課題を習得すべく練習する                 | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 12 | それぞれの課題について学修する<br>発声について学修する<br>発声方法を工夫する<br>個人またはグループ内で表現を工夫する | 講義・演習   | 他者の特性を取り入れ、自己表現を深めようとしているか                | (予習) それぞれの課題を練習する<br>(復習) それぞれの課題を習得すべく練習する                 | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 13 | それぞれの課題について学修する<br>発声について学修する<br>発声方法を工夫する<br>個人またはグループ内で表現を工夫する | 講義・演習   | 他者の特性を取り入れ、自己表現を深めようとしているか                | (予習) それぞれの課題を練習する<br>(復習) それぞれの課題を習得すべく練習する                 | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 14 | 発表会 個人やグループで発表する   | 講義・演習   | 個人やグループでそれぞれの特性を生かした表現ができたか               | (予習) 発表会に向けて練習する<br>(復習) 振り返りのレポート作成に向けて準備する                | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>実行力<br>課題発見力<br>計画力<br>創造力<br>発信力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力 |
| 15 | 声による表現とそのまとめ   | オンデマンド  | 声による取り組みを振り返り、今後に生かそうとしているか               | (予習) 振り返りのレポート作成に向けて準備する<br>(復習) 振り返りのレポート作成 Google formsにて | 90    | 主体性<br>働きかけ力<br>課題発見力<br>創造力<br>傾聴力<br>柔軟性<br>状況把握力<br>規律性<br>ストレスコントロール力                      |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力